

令和4年度「児童生徒自身によるネット利用 ルールづくり活動」事例紹介校実践報告書

1 学校の概要

- (1) 学校名 富士見市立本郷中学校
- (2) 学級数 13学級
- (3) 児童生徒数 378人
- (4) 教職員数 25人

2 「児童生徒自身によるネット利用ルールづくり活動」に関する取組について

(1) 取組内容

○ネットトラブルゼロ委員会

本校では、生徒会専門委員会の中に、「ネットトラブルゼロ委員会」を設置している。本校生徒が正しくインターネットを利用できるように啓発活動を行った。以下の活動も、主にネットトラブルゼロ委員会が中心となり、活動を行った。

○「ノースマホ・ノーゲームデー」の実施

本校では、原則月に1日「ノースマホ・ノーゲームデー」を実施してきた。これは、この日にスマートフォンやゲームの使用を控え、その時間を家庭学習といった自分の学びの時間にしたり、家事の手伝いや家族の団らんといった家族との時間にするなど、有効な時間の使い方を心がける日である。

実施日翌日に、Formsを用いて、対象を全学年とした実施状況アンケートを行った。アンケート結果のフィードバックは、次回「ノースマホ・ノーゲームデー」の前日にネットトラブルゼロ委員が放送にて行った。

○非行防止教室の実施

実施日：7月1日(金)

本校スクールサポーターによる講演に、全校生徒がTeamsを用いたライブ配信で参加した。講演テーマは『インターネットと6つの約束』とした。非行防止という観点で講演していただいているが、今年度はインターネット利用に潜む危険性に重点を置いて指導していただいた。

○情報モラル教室の実施

実施日：11月4日(金)

ネットトラブルゼロ委員会から、今年度の「ノースマホ・ノーゲームデー」の取組状況、ネットトラブルの事例紹介、「ネットサイクルルール」の啓発をTeamsを用いたライブ配信で行った。

○タブレット利用のルールづくり

学級活動で、生徒自身が使用する1人1台端末の使い方を話し合い、その内容をネットトラブルゼロ委員会がとりまとめ、①健康、②安全、③その他の3つの観点でルールを作成していった。

- ・ 1 1 月 生徒会専門委員会

ネットトラブルゼロ委員がタブレット利用ルールの原案及び学級討議進行のための原稿を作成した。

- ・ 1 2 月 1 日 (木) タブレット使用のルール学級討議

ネットトラブルゼロ委員会がつくった原案をもとに、全学級で学級討議を行った。ネットトラブルゼロ委員が原案を説明し、そこに対する質問や他に必要なルールなどについて討議し、意見を収集するとともに、生徒一人一人がタブレットの利用について考えを深めた。

- ・ 1 月、2 月 生徒会専門委員会

各学級での討議の内容を共有し、ルールを作成した。ネットトラブルゼロ委員を学年で3つのグループに分け、3つの観点についてルールを検討した。

(2) 全校への周知の方法

情報モラル教室では、ネットトラブルゼロ委員会が Teams を用いて全クラスへの配信を行った。

タブレット利用ルールについては、ネットトラブルゼロ委員が各学級に決まったルールについて、報告・啓発を行った。

3 広報活動について

(1) 活動内容及び実施期間

①本校ホームページに、作成したタブレット使用のルールを掲載する予定である。

4 活動の成果と課題

(1) 成果

ノースマホノーゲームデーを継続し、定期的にネット利用の意識を高めることができた。今後も続けていきたいと考えている。

非行防止教室では、非行防止という観点から、ネット利用の危険性について知見を広める良い機会となった。本校の実態に合った内容で実施することができた。

情報モラル教室では、生徒主体のプレゼンを行い、インターネットの危険性と正しい使い方について、全校生徒に発信できた。感想用紙には、生徒が真剣に話を聞いてインターネットを正しく活用しながら今後の生活に役立てようとする思いが書かれており、生徒自身が準備や発表できたことに価値を感じた。

タブレット利用ルールの検討では、ネットトラブルゼロ委員会がつくった原案をもとに、学級討議を行った。学級討議では、生徒のインターネットにかかわる疑問や質問が多くあがり、生徒がインターネットや一人一台端末について考えていることを把握することができた。

(2) 課題

家庭でのタブレット利用やノースマホノーゲームデーの取組は、保護者の目も必要である。今後は、保護者への啓発も進めていかなければならないと感じると同時に、各家庭でのインターネットや情報端末機器に対する意識の違いがある中、統一した指導の難しさも感じた。

学級討議で生徒から挙げられた質問には、「安全な Web サイトはどのように判断するのか」「SNS はどのように使うことが望ましいのか」といった、インターネット利用に関するものが多くあった。これからは、“危険やトラブルをさける”だけではなく、“上手に正しく利用する”ことが求められると考えるので、このような生徒の疑問に答えていくことが必要だと感じた。来年度以降、ネットトラブルゼロ委員会の活動として取り組んでいきたいと考えている。